



やまぐち なおひで
山口 尚秀 殿
今治市出身

山口尚秀さんは3歳の時に知的障がいに伴う自閉症と診断される。
水泳を始めたのは4歳の時で週1日の障がい児コースに通っていた。
本格的に取り組み始めたのは高校2年の時で、全国障害者スポーツ大会の出場がきっかけだった。

身長187cm85kgの恵まれた体格を活かした力強いストロークで記録はぐんぐん伸び、2019年には5月に出場した国際大会の100m平泳ぎで銅メダルを獲得。

またパラ水泳春季記録会では100m平泳ぎで好タイムをマークし世界パラ水泳の日本代表に選出される。

そして2019年9月にロンドンで行われた世界パラ水泳の100m平泳ぎ知的障がいクラスに出場すると、1分4秒95の世界新記録を樹立し金メダルを獲得した。その功績と今後の更なる活躍を期待し2020年3月「テレビ愛媛賞40」を贈呈した。その後2021年、日本代表として初出場した東京パラリンピックでは、自身が持つ世界記録を更新する1分3秒77のタイムで、記録の更新と金メダルの獲得という目標を成し遂げたことにより、今回「特別賞」を贈呈する。